

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	千住介護福祉専門学校
設置者名	学校法人東都医療福祉学院

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数	省令で定める基準単位数	配置困難
社会福祉専門課程	介護福祉学科 昼間部（2年生）	夜・通信	85 単位	7 単位	
		夜・通信			
		夜・通信			
		夜・通信			
（備考）					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

HP にて授業科目一覧を公開。授業科目一覧の中で、教員の実務経験に関するチェック欄あり。

<http://senju-kaigo.jp/disclosure/>

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
（困難である理由）

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	千住介護福祉専門学校
設置者名	学校法人東都医療福祉学院

1. 理事（役員）名簿の公表方法

HPにて理事名簿を公開している。
<http://senju-kaigo.jp/disclosure/>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	福祉用具・住宅改修会社 代表取締役社長	2025年5月 20日～2028 年度の定時 評議員会終 結時まで (2029年5 月開催予 定)	財務
非常勤	老人保健施設 事務長	2025年5月 20日～2028 年度の定時 評議員会終 結時まで (2029年5 月開催予 定)	介護業界における 人材育成
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	千住介護福祉専門学校
設置者名	学校法人東都医療福祉学院

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。 (授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) 介護福祉学科 昼間部 (2年制) 作成については、毎年度、教員全体会議を行い、講義・演習内容の検討しシラバスを修正、作成している。2025年度に教育課程編成委員会を設置し、授業方法及び内容について、より実践的なカリキュラムにしていくための提案をいただいております、この提案を含めたシラバス作成を行い、3月に完成させている。 シラバスの一覧表は、HPで公開を行っている。 シラバスは入学時にオリエンテーションを実施しており、授業計画書を書面で配布した上で、口頭で説明している。加えて各科目の初回授業で、該当科目のシラバス説明を行い、記載内容を確認している。なお、シラバスはHP上でも公開している。	
授業計画書の公表方法	http://senju-kaigo.jp/disclosure/
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。 (授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) 各科目シラバスに示した成績評価の方法で学修成果を評価している。筆記試験やレポートで採点を行うだけでなく、介護の実践的科目は、その特性に応じ実技試験で成績評価をしている。学生には予め成績評価基準を示した上で、自己学習に励み、実技試験に臨むよう指導している。 (参考) 千住介護福祉専門学校 細則 第5条 各科目の成績は、定期または随時に行う試験及びレポート・作品その他にもとづいてそれぞれの科目担当教員が認定する。 第6条 各科目の評価は、A (100～85点)・B (84～70点)・C (69～60点)・D (59点以下) の4等級をもって表す。Dは不合格とする。なお、「医療的ケア」「医療的ケア演習」については、厚生労働省「喀痰吸引等研修実施要項」の評価基準をもって表す。	

3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

客観的な指標の算出方法

履修科目の成績評価を点数化し、全科目の合計点の平均を算出する。

(100点満点で点数化)

学科名	介護福祉学科	学年	1	学生数	22
-----	--------	----	---	-----	----

成績の分布

指標の数値	～50点	50～60点	60～70点	70～80点	80～90点	100点
人数	1	0	1	6	14	0

下位 1/4 に該当する人数 6 人

下位 1/4 に該当する指標の数値 84 点以下

学科名	介護福祉学科	学年	1	学生数	14
-----	--------	----	---	-----	----

成績の分布

指標の数値	～50点	50～60点	60～70点	70～80点	80～90点	100点
人数	1	0	2	2	8	0

下位 1/4 に該当する人数 4 人

下位 1/4 に該当する指標の数値 73 点以下

客観的な指標の
算出方法の公表方法

全科目の合計点の平均を算出し客観的な指標と設定する。
<http://senju-kaigo.jp/disclosure/>

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

全科目の合計点の平均を算出し客観的な指標と設定する。

<http://senju-kaigo.jp/disclosure/>

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

卒業の認定は、学則および細則に準じ、学業成績及び出席状況により、判定会議を経て学校長が行う。卒業認定は学則に定める各年次の学科の養成課程に示す科目をすべて履修しなければならない。これらについては、学生便覧に記載しており、入学時オリエンテーションで配布した上、口頭で説明を行っている。なお、卒業認定の方針はHP上でも公開している。

卒業の認定に関する
方針の公表方法

<http://senju-kaigo.jp/disclosure/>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	千住介護福祉専門学校
設置者名	学校法人東都医療福祉学院

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	http://senju-kaigo.jp/disclosure/
収支計算書又は損益計算書	同上
財産目録	同上
事業報告書	同上
監事による監査報告（書）	同上

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
教育・社会福祉		社会福祉専門課程	介護福祉学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	90 単位時間／単位	55 単位時間／単位	25 単位時間／単位	10 単位時間／単位	単位時間／単位	単位時間／単位
			2075 単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生 数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80 人		46 人	40 人	4 人	37 人	41 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
（概要）経済的支援として、学校独自の奨学金、減免制度を設けている。また、社会人入学者に対しても教育訓練給付金の利用支援を行っている。メンタルの不調や健康不安については、プライバシーへの配慮として学校外の保健師、精神科医にいつでも相談できる体制を整えている。貸出用のノート型パソコンが複数台あり、インターネットを活用した学修も可能。自宅でも使用できるポータブル Wi-Fi の貸し出しも必要に応じて行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
19 人 (100%)	1 人 (%)	18 人 (%)	人 (%)
（主な就職、業界等） 居宅サービス事業所、介護保険施設、医療機関など			
（就職指導内容） 就職活動担当教員を配置し、個別に随時相談に応じている。履歴書の作成、面接練習などを行い、就職先が決定しないまま卒業を迎えることがないように指導している。また、卒業後の進路変更、再就職活動の相談にも応じている。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 介護福祉士国家試験 受験者 19 名中合格者 16 名（合格率 84.2%）			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
47 人	6 人	12.7%
（中途退学の主な理由） 進路変更		
（中退防止・中退者支援のための取組） 入学前に学習内容や介護業務を具体的に説明しているが、入学後に進路変更の希望がある場合は、早期から相談に乗り、心理面や金銭面などの不安を解消したうえで、就労または訓練、新たな教育機関へと進学できるよう支援している。		

②学校単位の情報

a)「学生納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考(任意記載事項)
介護福祉 学科	200,000 円	700,000 円	320,000 円	その他は、実習費・教材費・ 設備維持費(年間総額)
	円	円	円	
	円	円	円	
	円	円	円	
修学支援(任意記載事項)				
・学校独自の学費減免制度 経済的事由等いくつかの条件で、年間最大 18 万円を減免となる。				

b) 学校評価

自己点検評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 前年度評価について、学校HP公開している https://senju-kaigo.jp/disclosure/		
第三者評価の基本方針(実施方法・体制) 学校関係者として、関係法人、卒業生などを含む学校関係者評価委員会を組織し、それぞれの知見を活かした教育内容・学校運営等について評価を行っている。評価内容は理事会、学校運営委員会、教育内容検討委員会などで報告され、次年度以降の改善に取り組んでいる。		
第三者評価の委員		
所属	任期	種別
看護専門学校 副校長	2026. 4. 1～2027. 3. 31	学識経験者
医療法人 役員	2026. 4. 1～2027. 3. 31	業界団体
社会福祉法人 職員	2026. 4. 1～2027. 3. 31	卒業生
行政 職員	2026. 4. 1～2027. 3. 31	学識経験者
第三者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 前年度評価について、学校HP公開している https://senju-kaigo.jp/disclosure/		
(備考) 第三者評価は未実施であり、令和10年4月実施予定であるため、上記表中の第三者評価に係る各項目は、昨年度に実施した学校関係者評価に関する情報を記載している。		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://senju-kaigo.jp/disclosure/
--

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄（合計欄を含む。）について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「－」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード (13桁)	H113312100032
学校名 (〇〇大学 等)	千住介護福祉専門学校
設置者名 (学校法人〇〇学園 等)	学校法人 東都医療福祉学院

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者数 ※括弧内は多子世帯の学生（内数） ※家計急変による者を除く。		0 人（ 人）	0 人（ 人）	0 人（ 人）
内 訳	第Ⅰ区分	人	人	
	（うち多子世帯）	（ 人）	（ 人）	
	第Ⅱ区分	人	人	
	（うち多子世帯）	（ 人）	（ 人）	
	第Ⅲ区分	人	人	
	（うち多子世帯）	（ 人）	（ 人）	
	第Ⅳ区分（理工農）	人	人	
	第Ⅳ区分（多子世帯）	人	人	
	区分外（多子世帯）	人	人	
家計急変による 支援対象者（年間）				0 人（ 人）
合計（年間）				0 人（ 人）
(備考)				

※ 本表において、多子世帯とは大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第8号）第4条第2項第1号に掲げる授業料等減免対象者をいい、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分、第Ⅳ区分（理工農）とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第2号イ～ニに掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	0人	0人	0人
修得単位数が「廃止」の基準に該当 （単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単 位時間数が廃止の基準に該当）	0人	0人	0人
出席率が「廃止」の基準に該当又は学修意 欲が著しく低い状況	0人	0人	0人
「警告」の区分に連続して該当 ※「停止」となった場合を除く。	0人	0人	0人
計	0人	0人	0人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良である
ことについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遑って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、 高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2 年以下のものに限る。）			
年間	人	前半期	人	後半期	人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたこと
により認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

(1) 停学(3月未満の期間のものに限る。)又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、停止を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学(修業年限が2年のものに限る、認定専攻科を含む。)、高等専門学校(認定専攻科を含む。)、及び専門学校(修業年限が2年以下のものに限る。)		
	年間	前半期	後半期	
GPA等が下位4分の1	0人	0人	0人	

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学(修業年限が2年のものに限る、認定専攻科を含む。)、高等専門学校(認定専攻科を含む。)、及び専門学校(修業年限が2年以下のものに限る。)		
	年間	前半期	後半期	
修得単位数が「警告」の基準に該当	0人	0人	0人	
GPA等が下位4分の1	0人	0人	0人	
出席率が「警告」の基準に該当又は学修意欲が低い状況	0人	0人	0人	
計	0人	0人	0人	
(備考)				

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。